

実務力アップオンライン研修 カリキュラム概要

学べる分野



土木



建設



施工管理



水道



下水道



電気設備



公害検査

など

土木職 研修プログラム例

暮らしを支える土木職

暮らしを支える社会インフラの仕事を学び、現場・安全・法令・住民対応まで、実務の基礎を一通り学ぶ新人向け研修です。

🕒 全6章構成・合計 約5時間(300分) | 役割理解から現場実務、安全、仕事観まで一気通貫

第1章 土木職の役割と使命

30分



- 道路・橋・河川・上下水道など、暮らしを支える社会インフラの仕事です。
- 道路・水道・防災設備など、暮らしを支える土木の役割と、行政職員として守るべき地域基盤を学びます。

第2章 安全管理の基本

30分



- 安全は命に直結し、事故は本人だけでなく家族や仕事にも影響します。
- 転倒・転落、重機接触、熱中症などの事故例を通して、KY・指差呼称・保護具着用の重要性を学び、安全意識を高めます。

第3章 これを知らないと仕事にならない

120分



- 土木職は法律・予算・現場を同時に扱う仕事です。業務はすべて法令上の根拠に基づいて執行されます。
- 建設業法・入契法・品確法や河川法・道路法・水道法などの根拠法令、入札・契約・予算執行の手続きの流れ、現場で間違えやすい留意点などを学びます。

第4章 現場の流れと仕事の基本

30分



- 工事は「計画→設計→施工→維持」の流れで進みます。
- 土木職の1日の流れを学びます。朝礼、現場確認、写真記録、打合せ、書類作成を通して、現場対応とデスクワークの両立、関係者との連携を理解します。

第5章 コミュニケーション力

45分



- 報告・連絡・相談の「報連相」を基本に、庁内外の関係者と円滑に連携する姿勢を学びます。
- 住民対応では、丁寧に、相手の立場に立ち、感情的にならずに向き合う大切さを理解します。

第6章 仕事観・キャリア意識

45分



- 土木職として働くうえで大切にしたい姿勢や、日々の経験を成長につなげる考え方を学びます。
- 周囲から学ぶ姿勢、まず行動してみる力、学び続ける意識を通して、自分らしい働き方や今後のキャリアについて考えます。

※土木分野向け研修プログラム例です